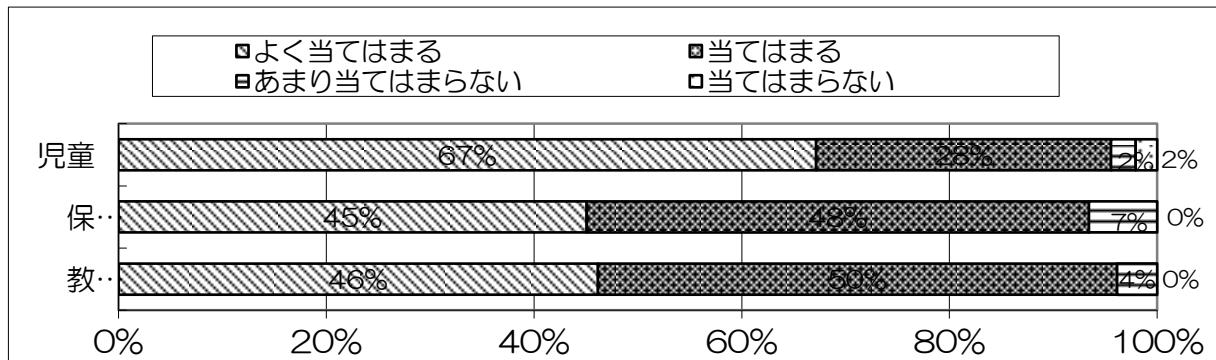


# 平成25年度 本校教育に関するアンケート結果について

栃木市立吹上小学校

## 問 1 児童は、楽しく学校に来ている。

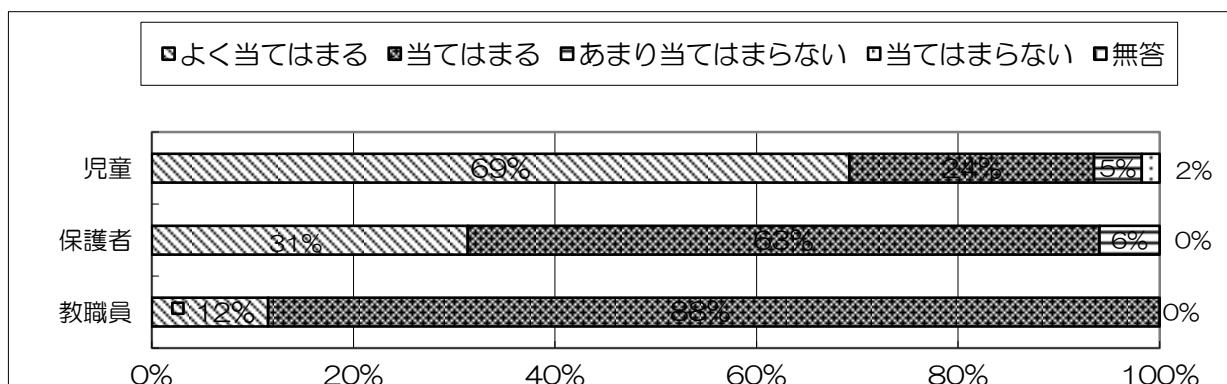
	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無 答
児童	67%	28%	2%	2%	0%
保護者	45%	48%	7%	0%	0%
教職員	46%	50%	4%	0%	0%



児童は96%が「楽しく学校に来ている」と答えている。昨年同様望ましい結果を得ることができた。QUテストの結果を生かした学級経営や児童一人一人に目を向けた児童指導・定期的な教育相談が功を奏していると思われる。しかし「よく当てはまる」と答えた児童は67%で、昨年の72%より下がっている。また、「当てはまらない」が2%いる。教職員はさらに児童をよく観察することにより困り感を把握し、保護者との連携を図りながら、一人一人が楽しく学校に来れるような学級作りに努めていきたい。

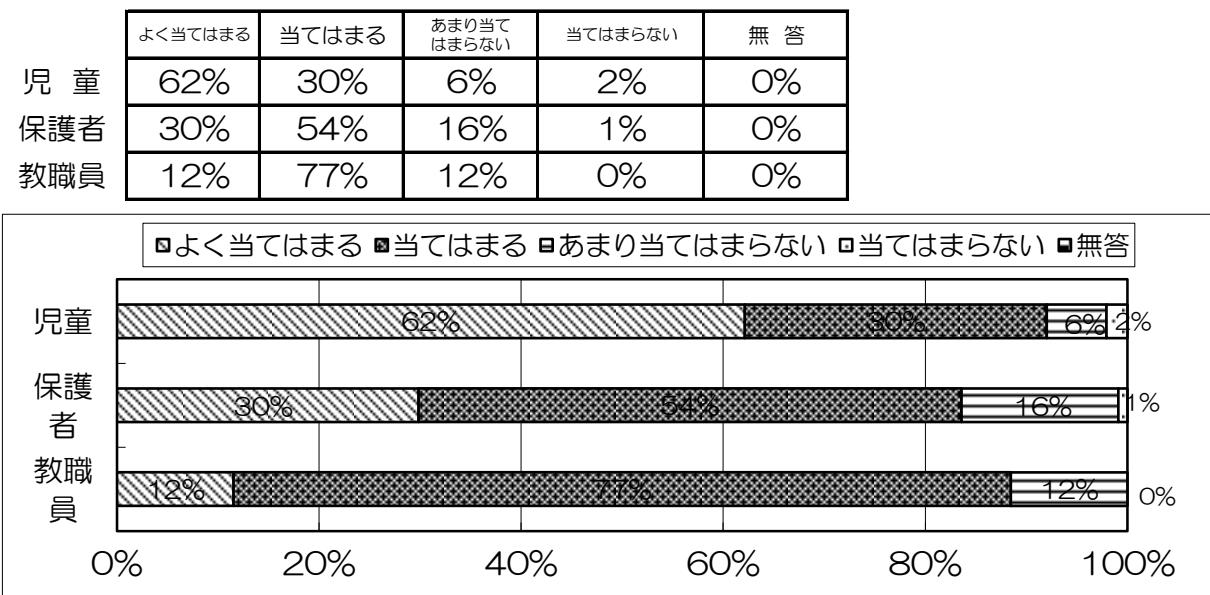
## 問 2 児童は、思いやりの心をもって生活している。

	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無 答
児童	69%	24%	5%	2%	0%
保護者	31%	63%	6%	0%	0%
教職員	12%	88%	0%	0%	0%



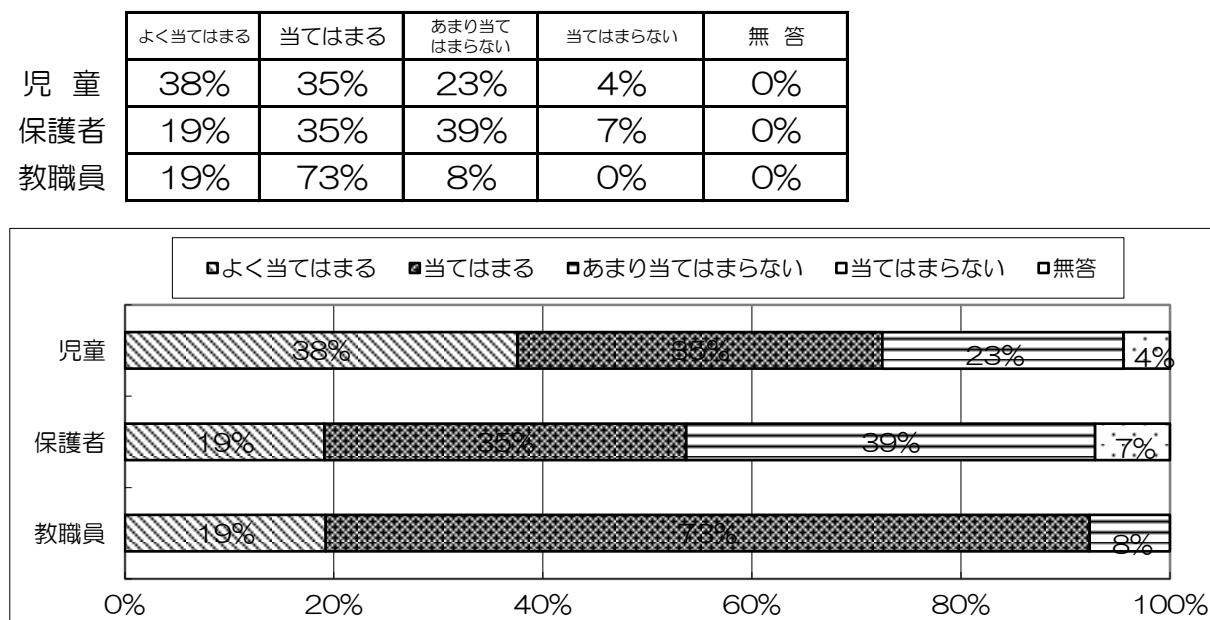
児童・保護者・教職員とも昨年同様、93%以上が「思いやりの心をもって生活している」と答えており、望ましい結果を得ている。児童の思いやりのある行動を賞賛しさらに伸ばしていくとともに、保護者にも学年だよりやPTA行事等をいかして紹介していきたい。しかし、7%の児童が「当てはまらない」と答えており、教職員はこのような児童の交友関係改善を図るために、ソーシャルスキルを学級活動に取り入れたり、QUテストの結果を活用した個別指導に努めたりしていきたい。

### 問 3 児童は、学校や地域でいさつをしている。



児童・保護者・教職員ともに84%以上が「いさつをしている」と答え、昨年同様、望ましい結果を得ることができた。兄弟学級の児童による朝のいさつ運動が功を奏していると思われる。しかし、保護者の20%が「あまりあてはまらない」と答えている。さらに朝の立哨当番の保護者からは最近いさつに元気がないとの意見がある。学級指導等でいさつのよさや意義などを教え、いろいろな場で進んでいさつができる児童を育てていきたい。

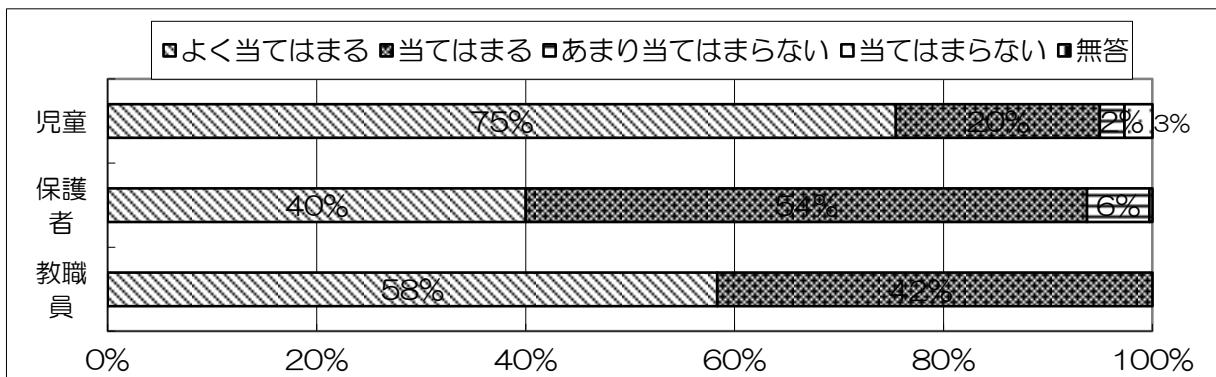
### 問 4 児童は、読書に親しんでいる。



児童の73%が「読書に親しんでいる」と答え、昨年同様の結果だった。学級での朝読書、読書週間の様々な取り組み、読破賞での励ましなどが功を奏していると思われる。しかし、保護者の46%が「あまりあてはまらない」と答え、家庭での読書がもう少しである状況だ。今後は、各学級で読書の楽しさやよさが実感できる指導をすると同時に、家庭でも進んで読書できるようさらなる働きかけが必要である。

## 問 5 教師は、児童相互のトラブルや悩みなどに誠意をもって対応している

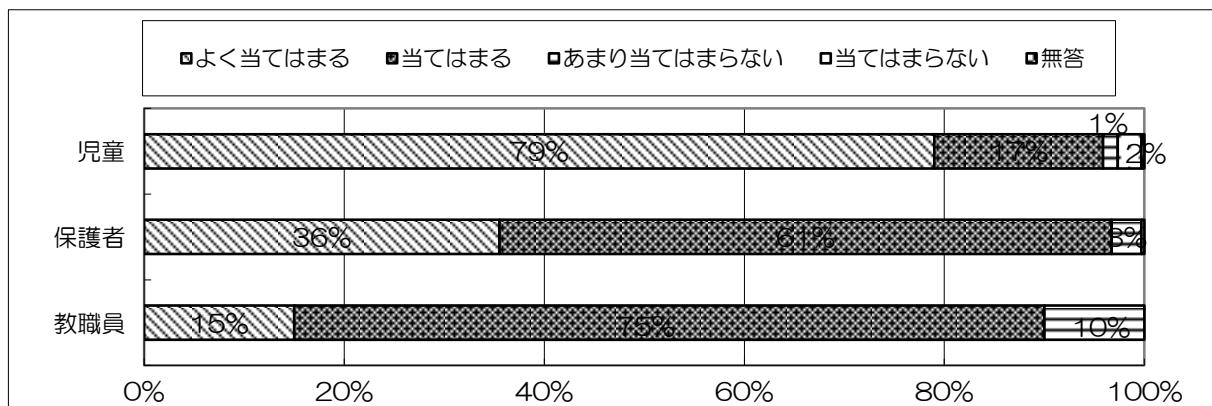
	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無 答
児童	75%	20%	2%	3%	0%
保護者	40%	54%	6%	0%	0%
教職員	58%	42%	0%	0%	0%



児童・保護者・教職員とも94%以上が「児童相互のトラブルや悩みなどに誠意をもって対応している」と答えている。たいへん良い結果である。特に保護者は昨年の91%から94%へと上がりとても良かった。これは、いじめアンケートや教育相談等によりきめ細かな指導がなされたからだと思う。今後も引き続き、定期的なアンケート調査や教育相談を実施し、一人一人の悩み等に誠実に対応していくようにしたい。その際、保護者との連携も十分図っていきたい。さらに、校内巡視等により児童観察を心がけ、教師間の情報交換を密にして、いじめ等の早期発見と対応に努めていきたい。

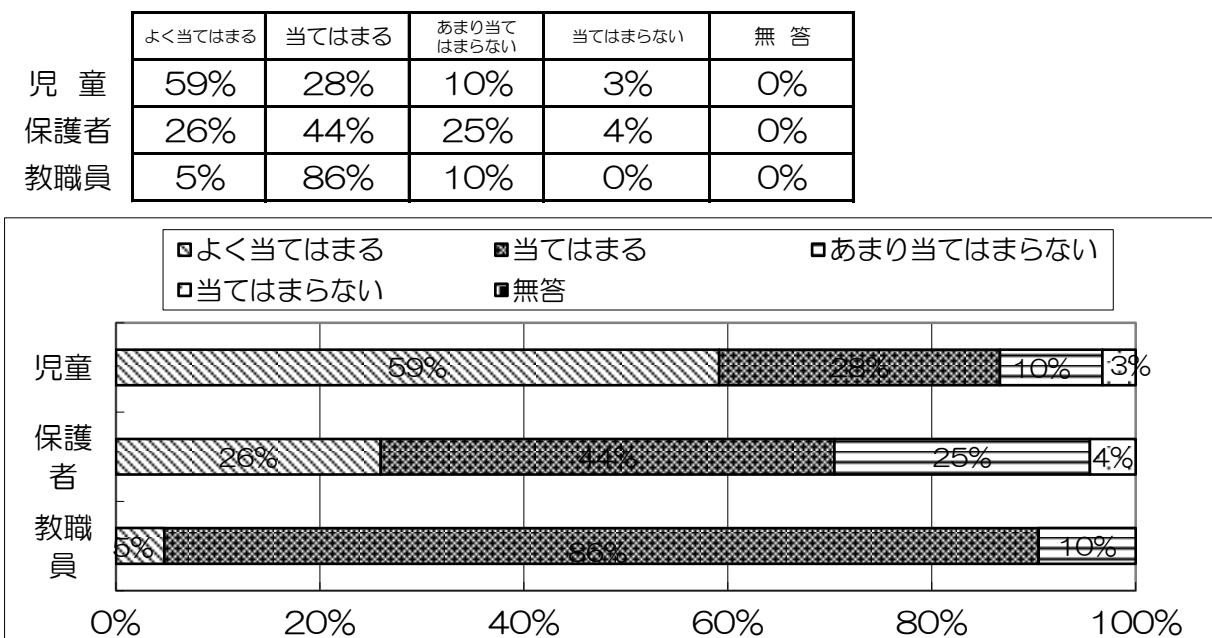
## 問 6 学校は、分かる授業を工夫し、学力の向上を図っている。

	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無 答
児童	79%	17%	1%	2%	0%
保護者	36%	61%	3%	0%	0%
教職員	15%	75%	10%	0%	0%



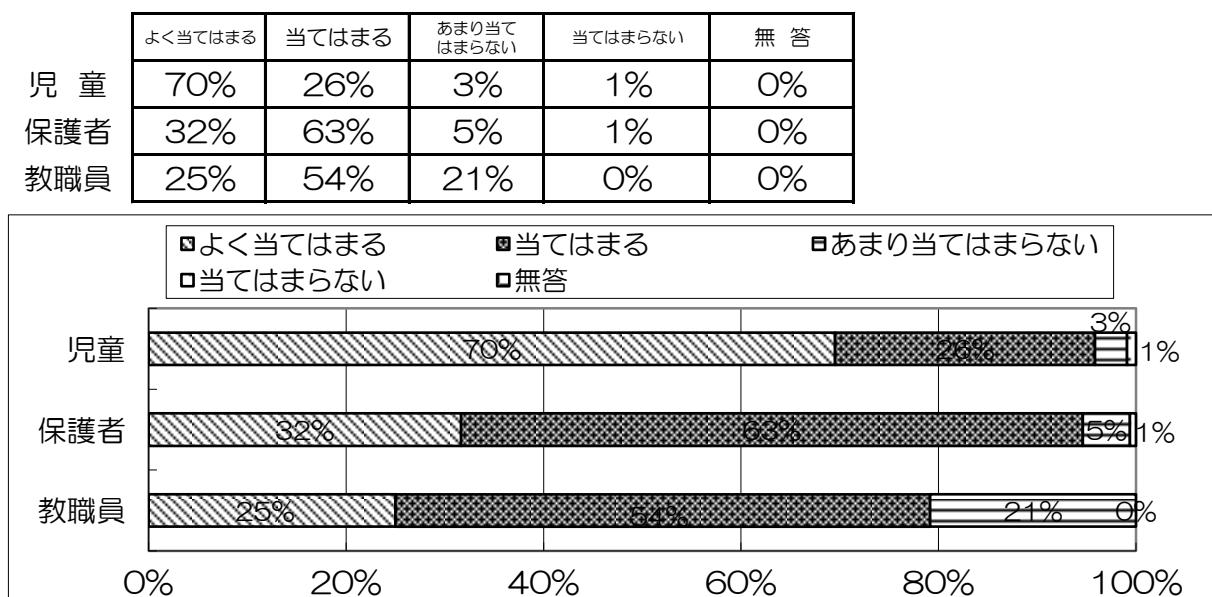
児童・保護者とも96%以上が「分かる授業を工夫し、学力の向上を図っている」と答えている。特に、保護者は昨年の93%から97%に上がり、たいへん良かった。日々の教材研究や授業準備、さらに学校課題研究で国語の授業について研修を深めたり、学校支援ボランティア等を活用した体験学習を積極的に導入したりした結果が表れたと思われる。今後、教材研究や準備する時間を確保し、楽しく分かる授業の充実をさらに図っていきたい。

## 問 7 児童は、家庭学習の習慣が身についている。



児童の87%が「家庭学習の習慣がついている」と答えたている。昨年の81%より上がっている。これまでの宿題や自主学習指導の取り組みにより定着が図られてきたと思われる。一方、保護者は31%が家庭学習習慣がついていないと答えている。今後も家庭学習の内容や方法等を具体的に助言しながら、分量等を工夫して学習意欲を高めていくとともに、家庭学習の定着に向けて保護者との連携を図っていきたい。

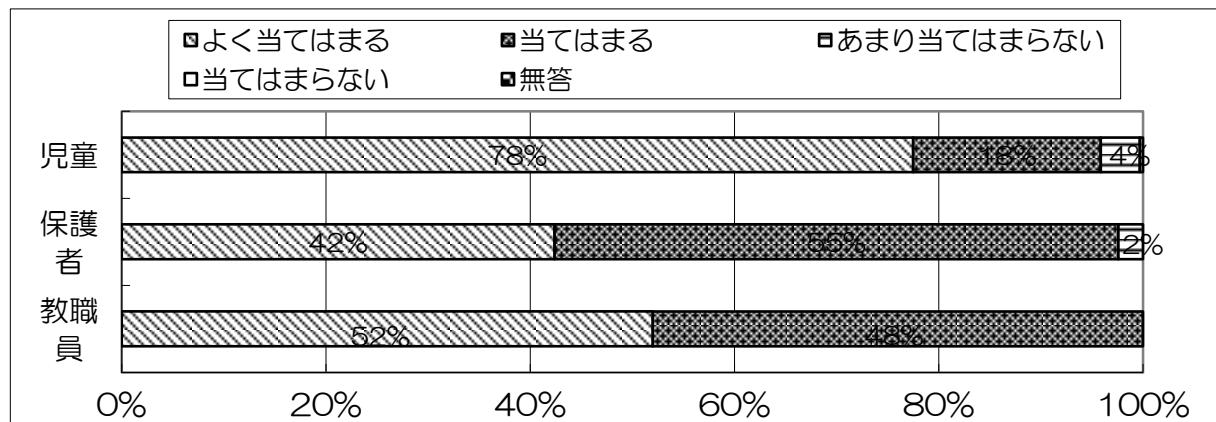
## 問 8 地域の教育力を活用して、ふるさとを愛する心を育てている。



児童・保護者とも95%以上が「地域の教育力を活用して、ふるさとを愛する心を育てている。」と答え、望ましい結果となった。地域人材を活用した体験学習やふるさと学習を各学年、積極的に取り入れた結果が表れたと思う。今後も、地域コーディネーターや公民館等と連携を深め、児童が地域に誇りや愛着がもてるような活動を計画的に取り入れていきたい。

### 問 9 児童は、交通ルールを守って安全に登下校している。

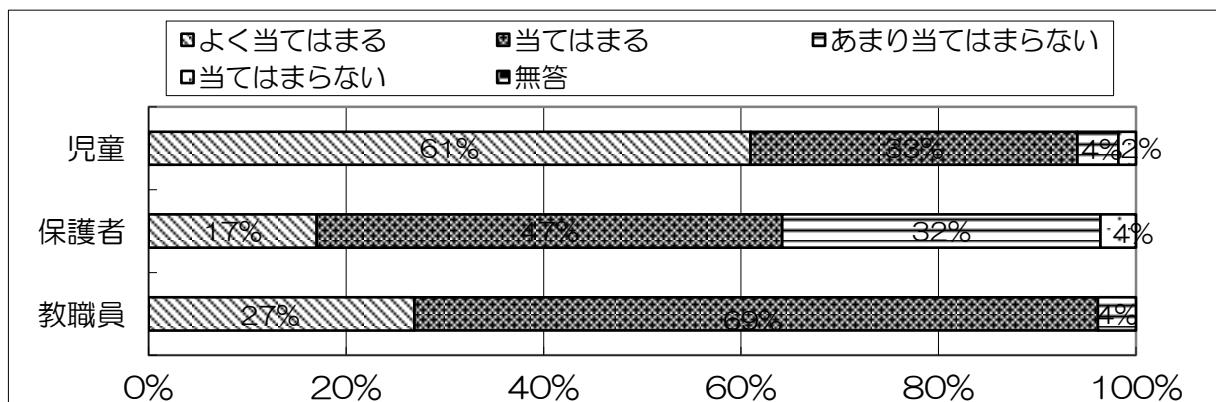
	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無 答
児童	78%	18%	4%	0%	0%
保護者	42%	55%	2%	0%	0%
教職員	52%	48%	0%	0%	0%



児童・保護者・教職員とも96%以上が「交通ルールを守って登下校している」と答えている。特に保護者の「よく当てはまる」は、昨年の33%から42%に上がっている。日頃の交通安全指導や登下校指導、PTA役員や保護者、地域ボランティアによる立哨指導などが功を奏し、児童の安全への意識が高まったと思われる。しかしながら、下校時の歩き方が乱れ気味なので、下校指導の強化を図り、交通事故0を目指していきたい。

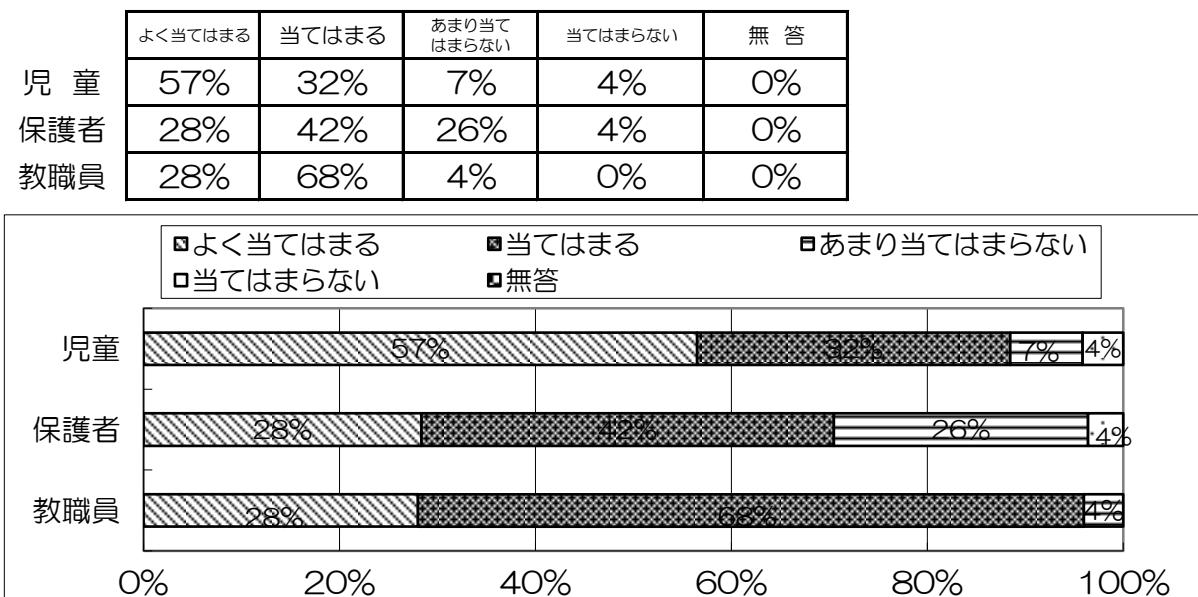
### 問10 児童は、清掃や係の仕事を進んでやっている。

	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無 答
児童	61%	33%	4%	2%	0%
保護者	17%	47%	32%	4%	0%
教職員	27%	69%	4%	0%	0%



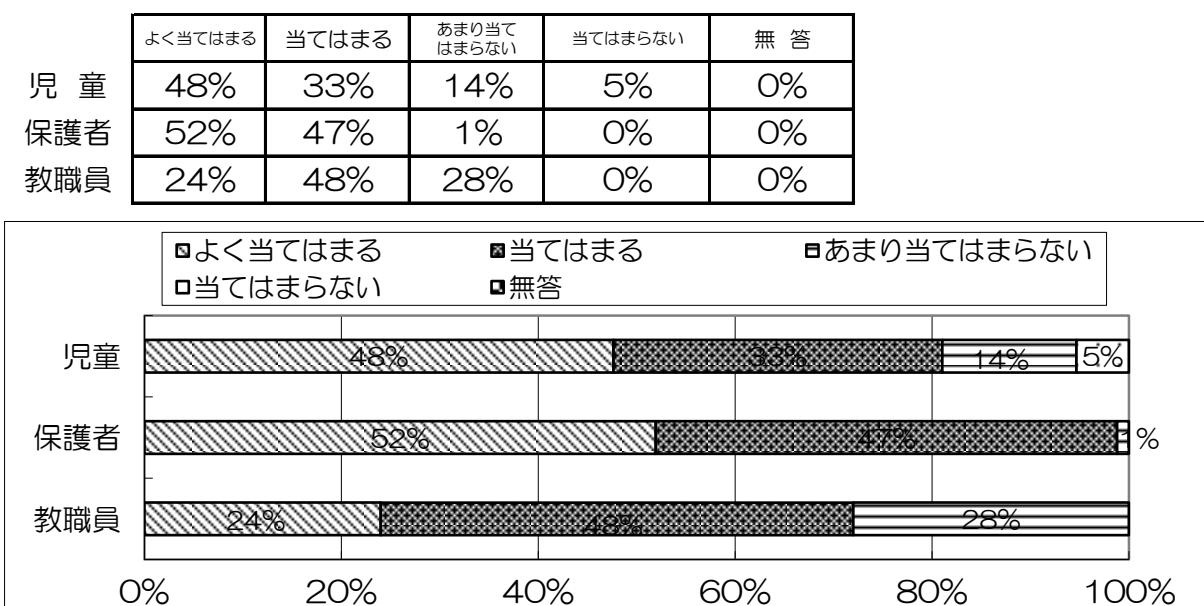
児童の94%が「清掃や係の仕事を進んでやっている。」と答えている。児童は、日々の清掃活動や係活動、高学年の委員会活動等、熱心に取り組んでいる。しかし、保護者は64%と低かった。家庭では、進んで手伝いをしていないようである。学級活動の時間等を活用して、家族の一員として家事の手伝いをすることの大切さを教え、保護者とも連携して、家庭でも進んで仕事ができるよう指導していきたい。さらに、目標を立て、その実現に努力する意欲や態度も育てたい。

## 問11 児童は、進んで運動し、体力づくりをしている。



児童の89%が「進んで運動し、体力をつけようとしている」と答えている。教科体育や持久走の練習、部活動等に熱心に取り組んでいる成果が表れたと思う。しかし、保護者は70%と低めの評価だった。学校では意欲的に運動をしているが、家庭ではあまり運動に親しんでいない傾向がある。今後は、教科体育、部活動等において、運動の楽しさを実感しもっとやってみたいと思えるような指導の工夫をしていきたい。

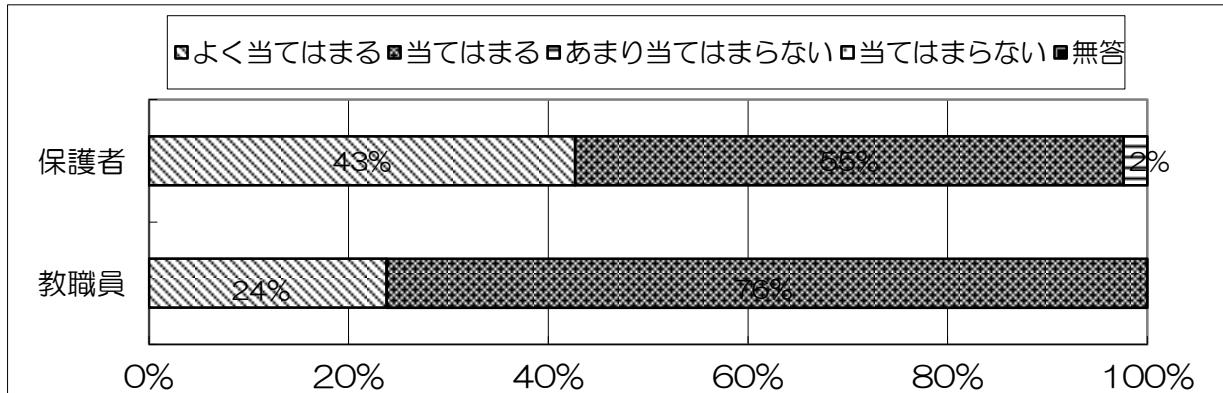
## 問12 学校は、農園を活用して食育を推進している。



保護者の99%が「学校は、農園を活用して食育を推進している」と答えている。かなり良かった。これは、学校農園を活用して各学年が計画的に野菜作りや世話をしていることが評価されたからと思う。しかし、児童は81%だった。これは、農園での活動には意欲的な児童が多いが、食べ物の好き嫌いがある児童がまだ多いためと思われる。今後も、食の安全を優先しながら、自分たちの育てた野菜をみんなで食べるという体験活動を実践し、児童の意欲を喚起し、食育を推進していきたい。

### 問13 学校は教育方針や取り組みが分かるように、各便りや懇談等で伝えている。

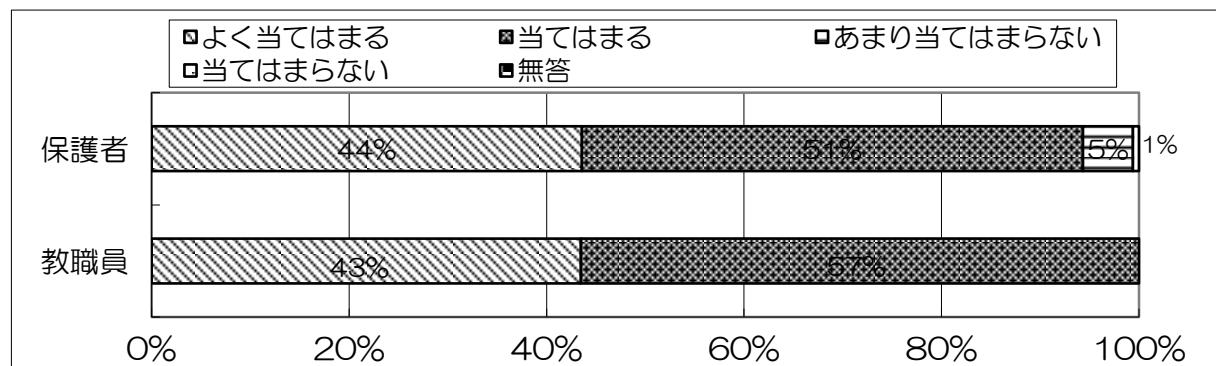
	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無 答
保護者	43%	55%	2%	0%	0%
教職員	24%	76%	0%	0%	0%



保護者の98%が「教育方針や取り組みが分かるように各便りや懇談会等で伝えている」と答えている。学校だより、学年だより、各種便りがよく読まれているようだ。さらに、ホームページにおいても学校行事や児童集会、PTA活動、各学年の学習活動等をタイムリーに紹介してきた。今後は、さらに内容を工夫して、分かりやすい紙面になるよう努力していきたい。

### 問14 学校行事やファミリー参観、授業参観などの時期や回数は適当である。

	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない	無 答
保護者	44%	51%	5%	1%	0%
教職員	43%	57%	0%	0%	0%



保護者は昨年同様94%が「時期や回数は適当である」と答えている。しかし、6%の方が適当ではないと答えている。来年度は、ファミリー参観と授業参観のどちらをよく検討して、家庭との連携が効果的に図れるようにしていきたい。さらに、学校行事計画を見直し、無理なく実施できるよう改善を図っていきたい。









